

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月16日

上場会社名 アルゼ株式会社
 コード番号 6425 URL <http://www.aruze.com>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 徳田 一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役 (氏名) 丹治 幹雄
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月16日

上場取引所 JQ

TEL 03-5530-3055

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	14,932	—	△9,144	—	△4,648	—	△5,056	—
20年3月期第3四半期	62,998	105.6	15,421	—	21,180	—	21,594	61.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△63.26	—
20年3月期第3四半期	270.19	270.13

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	168,114	—	130,259	—	76.5	—	1,608.88	—
20年3月期	184,826	—	147,327	—	79.7	—	1,841.84	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 128,605百万円 20年3月期 147,227百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	60.00	60.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△70.9	△9,000	—	△4,000	—	△6,000	—	△75.06

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
 新規 1社(社名 Molly Investments Cooperative U.A.) 除外 1社(社名)
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 80,195,000株 20年3月期 80,195,000株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 260,244株 20年3月期 260,034株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 79,934,827株 20年3月期第3四半期 79,922,564株

※業績予測の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月1日に発表した通期の業績予測を平成21年2月16日に修正しております。
 2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
 3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、一部の米国大手証券会社の経営破たんによって代表される、米国から派生した世界的な金融危機による株価の下落や、急激な円高により企業収益は大幅に減少し、経済は依然として、不安定な状況となっております。

第3四半期連結累計期間における当社のパチスロ機の市場導入台数は販売及び設置が約15千台、ソフト交換サービスは約27.5千台となっております。また、当社が23.6%の株式を保有する持分法適用会社のウィン・リゾーツ社の第3四半期連結累計期間における純利益が369,840千USDであったことと、ウィン・リゾーツ社が自己株式の取得を行ったことにより、のれんの償却が生じた事などにより、第3四半期末までにおける持分法による投資利益として7,133百万円計上しております。また、今般の急激な円高や、当第3四半期連結会計期間より、フィリピンにおけるカジノプロジェクトに関連する関係会社を連結したことなどに伴い、為替差損3,189百万円を計上しております。また、特別利益として、持分法適用会社である Luck Holdings (Pty) Ltd 及び Luck At It Eastern Cape (Pty) Ltd の株式売却益1,157百万円を計上しております。

なお、当社グループの業績は以下のとおりであります。

パチスロ・パチンコ事業におけるパチスロ機の市場環境は、4号機から新規制5号機へ移行し、射幸性が厳しく抑制されたことに伴い、ユーザー離れが続いた結果、金融危機に伴う資金調達の困難も相俟って、ホール店舗の閉鎖・倒産が多発いたしました。その為、一昨年の4～12月のパチスロ市場全体の導入台数は約1,320千台（注）でありましたが、昨年は約692千台（注）、前年比約52%と、予測を超えた減少となりました。

上半期においては、パチスロ事業におけるパチスロ機の導入台数が当初計画の96.7千台に対して、34.6千台に止まっておりまして。これを踏まえ、下半期においては、営業体制を抜本的に再構築することにより、上半期の未達分約60千台を補うことを念頭において、150千台の導入を計画しました。

上半期の販売不振は、人気機種の開発企画での市場情報不足に起因しており、具体的には、営業担当者に店舗での情報収集を徹底させることにより、市場を把握すると同時に、マーケティングが人気機種を分析することで人気の要素を基軸に開発企画を行います。

この成果もあり、人気の機軸を反映した機械の開発が進んできておりますが、一方で昨今機械の認可に要する時間が長期化しており、この結果これらの機械の販売に遅れが発生しております。

したがって、第3四半期連結会計期間における新規投入機種は1タイトル（先行導入機種を除く）となり、それに伴い第3四半期連結会計期間における導入実績は約7.9千台にとどまり、第3四半期連結累計期間においては、パチスロ機の投入タイトル数は7タイトル、導入実績は約42.5千台となっております。

（注）当社グループ調べ

海外カジノ向けゲーミング機器事業につきましては、従来から販売拠点のある豪州、南アフリカ向けの販売を行ったほか、最大の市場である米国での販売を目的としてネバダ州でのカジノ機器の認可を取得し、またアジア市場への販売拡大を目的としてマカオに販売拠点を設置し、販売を拡大いたしました。

放送事業においてはスカイパーフェクトTV！にて平成12年6月に配信を開始した「パチンコ・パチスロTV！」がファンのニーズに応えるチャンネルとして、引き続き確かな支持を得ております。

メディアコンテンツ事業主体であるアルゼメディアネット株式会社では、運営する携帯サイト「アルゼ王国」において、実機販売及び実機の稼動とのさらなる連動を図るべく、またユーザーの皆さまへのサービス拡充を目的として、引き続きサイトリニューアルを進めております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における総資産は、168,114百万円（前期末比16,711百万円減）となりました。主な増減要因は、土地が30,587百万円増加したものの、現金及び預金が18,228百万円、流動資産に計上する有価証券が23,241百万円減少したことなどでありまして。

負債は37,855百万円（前期末比355百万円増）となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が5,010百万円、未払法人税等が3,709百万円減少したものの、長期借入金が11,654百万円増加したことなどでありまして。

純資産は130,259百万円（前期末比17,067百万円減）となりました。主な増減要因は、少数株主持分が1,490百万円増加したものの、株主資本のうち利益剰余金が10,322百万円、株価や為替などの変動から生じる評価・換算差額等が8,298百万円減少したことなどでありまして。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想については平成21年2月16日付「平成21年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」にて記載のとおりです。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間より、当社の子会社である Aruze USA, Inc. が出資を行っている関係会社であった Molly Investments Cooperatieve U.A. の重要性が増加したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

③法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

③第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,384	32,613
受取手形及び売掛金	8,316	15,331
有価証券	149	23,391
製品	1,942	2,280
半製品	1,093	429
原材料	21,772	19,327
仕掛品	4,906	5,849
その他	6,497	9,495
貸倒引当金	△124	△175
流動資産合計	58,938	108,543
固定資産		
有形固定資産		
土地	37,661	7,073
その他	11,201	12,690
有形固定資産合計	48,862	19,764
無形固定資産		
のれん	461	602
その他	390	457
無形固定資産合計	851	1,060
投資その他の資産		
投資有価証券	53,664	51,635
長期貸付金	2,247	899
その他	5,740	5,279
貸倒引当金	△2,201	△2,371
投資その他の資産合計	59,451	55,443
固定資産合計	109,166	76,267
繰延資産	10	15
資産合計	168,114	184,826

(単位：百万円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,487	7,497
短期借入金	3,258	49
1年内返済予定の長期借入金	796	872
1年内償還予定の社債	1,800	2,300
未払法人税等	256	3,965
賞与引当金	83	298
その他	10,636	12,865
流動負債合計	19,319	27,849
固定負債		
社債	2,550	3,350
長期借入金	13,450	1,719
その他	2,535	4,580
固定負債合計	18,535	9,650
負債合計	37,855	37,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,446	3,446
資本剰余金	7,503	7,503
利益剰余金	127,948	138,270
自己株式	△1,637	△1,636
株主資本合計	137,261	147,584
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	31
為替換算調整勘定	△8,654	△389
評価・換算差額等合計	△8,655	△357
新株予約権	163	99
少数株主持分	1,490	—
純資産合計	130,259	147,327
負債純資産合計	168,114	184,826

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	14,932
売上原価	8,027
売上総利益	6,904
販売費及び一般管理費	16,049
営業損失(△)	△9,144
営業外収益	
受取利息	332
受取配当金	269
持分法による投資利益	7,133
その他	410
営業外収益合計	8,146
営業外費用	
支払利息	350
為替差損	3,189
その他	110
営業外費用合計	3,650
経常損失(△)	△4,648
特別利益	
前期損益修正益	92
固定資産売却益	6
関係会社株式売却益	1,340
貸倒引当金戻入額	189
持分変動利益	467
その他	36
特別利益合計	2,134
特別損失	
前期損益修正損	63
関係会社株式評価損	57
減損損失	32
持分変動損失	254
関係会社整理損	660
その他	72
特別損失合計	1,139
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,654
法人税、住民税及び事業税	505
法人税等調整額	706
法人税等合計	1,211
少数株主利益	190
四半期純損失(△)	△5,056

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(百万円)
I 売上高	62,998
II 売上原価	27,854
売上総利益	35,143
III 販売費及び一般管理費	19,722
営業利益	15,421
IV 営業外収益	6,100
V 営業外費用	341
経常利益	21,180
VI 特別利益	6,092
VII 特別損失	1,378
税金等調整前四半期純利益	25,895
税金費用	4,436
少数株主損失	△136
四半期純利益	21,594